

横田基地をなくし、爆音のない平和な羽村を

米軍横田基地周辺では、羽村市など住宅地の上空で連日、米軍機の飛行訓練が行われています。横田基地では、航空自衛隊航空総隊司令部移駐がすすめられ、米軍と自衛隊が一体化し、戦争遂行の重要な基地になろうとしています。9月定例議会で中原議員は米軍機の住宅地上空での訓練をやめさせ、横田基地の撤去に取り組むよう市長に求めました。

騒音対策 周辺自治体と連携し要請

市長 市では、横田基地の航空機騒音測定を、市役所とスイミングセンターで行っており、今年度4月から8月までの5ヶ月間における騒音発生回数は、市役所で1,065回、スイミングセンターで、444回となっており、前年度との月平均の回数では、市役所は増加傾向、スイミングセンターは減少傾向にある。市民からの苦情については、今年度、航空機騒音に起因するものが、8月末日現在、12件となっている。市の対応は、防衛省から通告のあった訓練の際は、広報紙やホームページを通じて、市民の皆様へ情報提供するとともに、訓練に係る周辺への影響を最小限に止めるよう、周辺自治体と連携して要請活動を行っている。

横田基地に対しては、整理・縮小・返還の立場

市長 横田基地に対する考え方は、従来から整理・縮小・返還である。しかしながら、横田基地の運用につきましては、国防上の措置であり、市としては、今後も、整理・縮小・返還という基本的な立場に立ち、横田基地を起因とする市民生活への影響を最小限にするよう対応していくとともに、それら基地の運用から生じる影響について、引き続き、国において適正に対応できるよう、横田基地周辺の5市1町で共同して強く要請していく。

羽村民報

2010年10月24日 993
発行 羽村民報編集委員会
責任者 野崎 衷

日本共産党羽村市議団のホームページ
<http://www.jcphamura.org>
事務所 電話 579-2132 FAX579-2106



C-12



UH-1N



セスナ

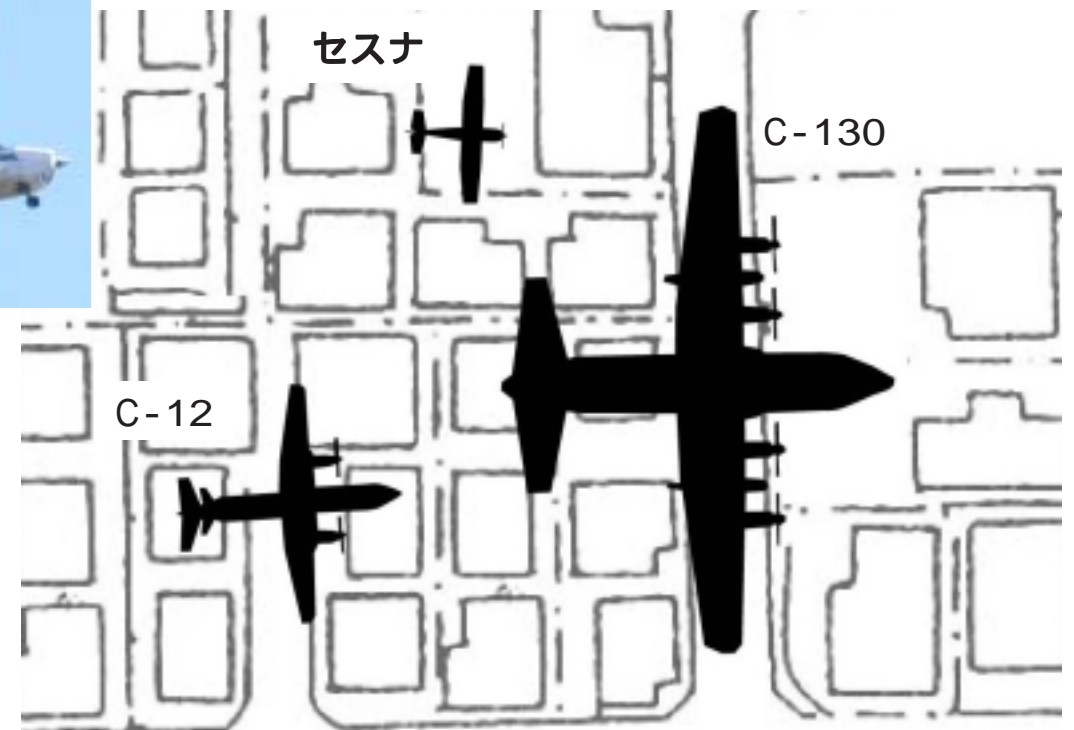


C-130

毎晩、うるさいのはC-130 輸送機

横田基地に常駐しているのはC-130輸送機が15機、C-12輸送機が3機、ヘリコプターUH-1Nが4機、他にセスナが4機これは“T-41”という別名もあり訓練機になっているようです。平日主に飛行訓練をしているのがC-130で、C-12は時々、週末はセスナがよく飛んでいます。ヘリコプターは主に横田基地の東側で訓練をしており、羽村市上空にすることはあまりありません。

それぞれのシルエットを住宅地図に重ねると下のようになります。



セスナ

C-12

C-130